

## 令和6年鋸南町教育委員会第3回定例会議事録

1. 日 時 令和6年3月21日（木）午後2時00分～午後4時07分
2. 場 所 鋸南町立中央公民館 2階会議室
3. 出席委員 教育長 富永 安男 教育長職務代理者 山野 正人  
委員 篠原 恭恵 委員 伊藤 尚徳
4. 出席職員 教育課長 安田 隆博 主任指導主事 助川 孝浩  
教育総務室長 福原 規生 生涯学習室長 笹生 浩樹
5. 開 会 富永教育長が開会を宣言
6. 議事録署名人の指名 富永教育長が篠原委員を指名
7. 議事録の承認 令和6年2月15日開催の第2回定例会議事録について承認
8. 会議の傍聴 傍聴者なし

### 9. 教育長の報告

教育長の報告をします。3点お話をしたいと思います。

1点目は、人事に左遷はないという話であります。今年度の教職員人事もほぼ固まり、新聞発表は26日ではないかと言われております。中には不満を漏らす職員もいますが、先生方には行く先の学校に望まれて行くのだからしっかり頑張るように言って、送り出してください。と校長に話をしています。

2点目ですが、鋸南幼小中教育構想については、令和2年の11月に教育委員の皆さんの様々な意見を集約し、向こう11年間の教育構想を、私なりにまとめたつもりであります。学校全体の教育目標は小中学校1校ずつしかありませんけど、社会で通用する人間の育成という目標を掲げてやっています。いずれにしても、地域教育力を高めたい。できれば県下一を目指して頑張っていきたいということが私の目標であります。

学校教育は、学校長がいるわけですから、全て校長に任せるとというのが私の考えです。しかし、今の時代、学校教育は職員だけやればよいという時代ではありません。学校ができないことを社会教育社会体育で押し上げるということが、私の考えている姿です。そういうわけで、11年間を通して多様な学びで育むというイメージを目指しております。その一つとして、鋸南ふるさと教育を推進してまいります。

また、検討事項として教育構想として、鋸南町は1園、1小、1中しかないので、鋸南学園として協力し合っている姿がいいと思いますが要検討中です。更に現場におろしていく中で、様々展開をしてもらっております。例えば放課後子供教室もその一つでありますし、学校支援ボランティアもその一つであります。

3つ目のお話ですが、今大変現場も忙しいですね。特に小学校は、道徳が教科化され4年経ちましたが、今度は英語が入ってきました。英語は今のところ高学年だけですが、だんだん3年生4年生と入ってくると思います。しまいには1年生から教科化になるのではないのでしょうか。そうすると数値化こそしないもののやっぱり評価するということは、それが果たして現場で、それでいいのでしょうか。道徳というのは人間形成を評価することになります。そういう方向に、令和の日本型教育は向かっているのですが、非常に心配しています。OECDの調査によると、日本の子供の学力は高い。しかし、肝心の夢がありません。さらには意欲とやる気ももっとない。これは大変なことではないかなと思いました。最終的に大事なものは、一人の人間として自分の人生をどう切り開いていくかという強い意志が必要だと思います。それがなかったら、他人の力を借りて生きていくだけではいけないと思います。それを何で補うかといったら非認知能力の育成だと思います。私が考える非認知能力というのは、問いを立てる力、編集力、創造力だとか、表現力もちろん大事ですけど、さらには向上を目指す前向きな意欲とやる気、粘り強さ、自己肯定感、コミュニケーション力、欲求や感情の自己調整などの育成が重要だと思います。これらの力が備われば、社会の変化に対応できる力が身に付くと思います。これがないとやはり人任せの人間になってしまうのではないかなと思います。

大谷翔平選手がすごいなと思うのは、皆さんご存知のように高校2年の夏休みに既に自分の人生設計をノートに書いてあったのです。高校3年でこうなる、大学で、社会人では、こうなるという計画を全て実現しているわけです。実現するどころか、それ以上の活躍をしています。夢を持ち、目標に向かって一歩ずつやっていくというのがいいと思っております。

以上で教育長の報告を終わります。

## 10. 議 事

### (1) 議決事項

#### ①議案第1号 教育委員会の点検・評価について

- ・福原教育総務室長から、別紙説明資料により説明がなされた。

(質疑等)

- ・篠原委員から「小学校のところで学校長からの定期的な筆頭問題、中学校のところでは悉皆・推薦研修とあるが、どのような事か。」との質疑に対し、助川主任指導主事から「学校長からの定期的な筆頭問題とは、例えば学校に来られなくなってしまった子に対して、学級担任としてどのような対応をするのか等、自分だったらどのように扱うか、このような問題を出しているという事です。悉皆・推薦研修は、例えば技能の研修に誰か一人先生をお願いしますということです。悉皆研修は、最近では専門研修として29年目、30年目の先生方の研修もあります。」との答弁がなされた。

「いじめの未然防止や対策は、幼小中が連携し、子どもたちを共通理解し進めていきたい。」との要望に対し、

助川主任指導主事から「生徒指導に係る情報交換を学校長と教育長そして小中学校の生徒指導主任も加わり公式に年2回行っています。また、中学校では生徒会

でいじめゼロ宣言集会を行っており生徒が互いに注意し合う体制ができています。」との答弁がなされた。

- ・山野委員から「いじめについてほとんど聞かなかったので、無いのかと思っていた。今、いじめが12件あって解決したと報告を受けたが、こういう事も報告して欲しい。」との要望に対し、

富永教育長から「分かりました。」との答弁がなされた。

- ・篠原委員から「副読本の活用例を検討するって書いてあるが、歴史的なもの以外の副読本というのは無いと私は認識しているが、どうなっているか。」との質疑に対し

福原教育総務室長から「今まで、学校から副読本の要望はありませんでした。教頭会や校長会で要望があれば、検討していきます。統計調査等の資料がありますので、それらの資料については要望に応じて提供していきます。」との答弁がなされた。

「中学校で小中9年間の学習計画が必要と書いてある。今年は、鋸山の学習に取り組んできたが、計画的にやっついていかないと将来は無くなってしまおうと思う。」との意見に対し、

富永教育長から「良い方向に進むようにしていきます。」との答弁がなされた。

- ・伊藤委員から、「施策の内容は自分たちで設定したものか。」との質疑に対し  
福原教育総務室長から「施策は毎年策定しています教育の指針です。それに対してどうだったか点検しています。」との答弁がなされた。

伊藤委員から、「全体の点検ができて、課題もはっきり見えて良い事だと思う。」との意見があった。

- ・篠原委員から、「毎回、保育所で園外活動は不十分だっということが課題にあがる。ボランティアさんの力を借りて実施するなど、来年度は良い結果になると良いと思う。」との意見に対し、

福原教育総務室長から「保育所の状況ですが、昨年は0歳児の入所希望がありましたが受けられませんでした。その理由は、職員不足です。役場の試験でも保育士の応募がなく、求人も出しましたが応募がありませんでした。そんな状況の中でやっと開設しているような状況です。令和6年度は、3人の募集をしましたが、試験を受けたのは2人でした。これからも要求はしていきたいと思っております。加えて、支援の必要な子が増えていますので、基準以上に職員を配置していますが、中には1人の子に1人の職員が付かなければならない事もありますので、余裕がありませんが皆さん良くやってくれています。」との答弁がなされた。

- ・山野委員から、「給食は、かつて残さず食べる事を推奨していたが、今はどのように指導しているか。また、学校の統合が進み通学もスクールバスを利用していることが多くなっているが、子どもたちの体力の低下は見られないか。」との質疑に対し、

福原教育総務室長から「給食の指導については、食べる事に興味を持ってもらえるように様々な工夫をしています。例を挙げると、絵本に出てくるメニューを再現したり、各学年のリクエストメニューを提供したりする取組みをしています。また、地産

地消にも心掛けています。更には、昨年度更新した食器も見返りちゃんや新兵衛君のイラストを入れたものに変えて興味を持ってもらうようにしています。」との答弁がなされた。

助川主任指導主事から「体力のことですが、小学校中学校とも体力テストを見る限り、千葉県の平均よりは上です。小学生につきましては鋸南町ではスポーツ少年団への加入率が高く、地域で子どもたちを見てくれているからだと思います。中学校女子は、54市町村ありますが、現在県下3番目です。中学校は部活がうまくいっていると思われまます。」との答弁がなされた。

以上で質疑を終了し、議案第1号は原案どおり可決された。

## ②議案第2号 鋸南町教育の指針の策定について

- ・福原教育総務室長から、別紙説明資料により説明がなされた。

(質疑等)

- ・伊藤委員から「基本方針の中で、「三ツ星のふるさと・鋸南」とあるが、どういう意味か。」との質疑に対し、

安田教育課長から「基は総合計画の中で使われている文言で、それを教育の指針で引用しました。三ツ星の意味は最高ランクを目指したいという意味です。」との答弁がなされた。

- ・篠原委員から「基本方針の中で、年度と何年と表記を合わせたほうがいいと思うが。」との質疑に対し、

福原教育総務室長から「基本的には、行政は年度で動いていますが、総合計画だけが何年という表記になっています。もとの表記に合わせています。」との答弁がなされた。

「目標をカットしたとの説明があったが、評価の観点が少なくなると思うがいかがか。」

との意見に対し、

助川主任指導主事から「昨年校長先生が代わり目標が多いと言われました。重複するところも多かったので整理しました。」との答弁がなされた。

「伝統文化とは何を指しているか」との質疑に対し、

福原教育総務室長から「ふるさと教育の事を指していますので祭礼等をイメージしています。」との答弁がなされた。

以上で質疑を終了し、議案第2号は原案どおり可決された。

## ③議案第3号 鋸南町文化財審議会委員の委嘱について

- ・笹生生涯学習室長から、別紙説明資料により説明がなされた。

質疑は特になく、議案第3号は原案どおり可決された。

## ④議案第4号 鋸南町スポーツ推進委員の委嘱について

- ・笹生生涯学習室長から、別紙説明資料により説明がなされた。

質疑は特になく、議案第4号は原案どおり可決された。

- ⑤議案第 5 号 鋸南町英語検定等補助金交付要綱の制定について
- ・安田教育課長から、別紙説明資料により説明がなされた。  
質疑は特になく、議案第 5 号は原案どおり可決された。
- ⑥議案第 6 号 鋸南町部活動指導員設置要綱の制定について
- ・安田教育課長から、別紙説明資料により説明がなされた。  
(質疑等)
  - ・山野委員から「部活動指導員は、町民でなくてもいいか。」との質疑に対し、  
安田教育課長から「結構です。」との答弁がなされた。
- ⑦議案第 7 号 鋸南町奨学生ふるさと定住支援事業補助金交付要綱の制定について
- ・安田教育課長から、別紙説明資料により説明がなされた。  
(質疑等)
  - ・山野委員から「卒業して既に返還している人も対象となるか。」との質疑に対し、  
安田教育課長から「35歳以下の方なら対象となります。」との答弁がなされた。  
以上で質疑を終了し、議案第 7 号は原案どおり可決された。
- ⑧議案第 8 号 鋸南町奨学金貸付規則の一部を改正する規則の制定について
- ・福原教育総務室長から、別紙説明資料により説明がなされた。  
質疑は特になく、議案第 8 号は原案どおり可決された。
- ⑨議案第 9 号 鋸南町立学校職員服務規程の一部を改正する訓令の制定について
- ・福原教育総務室長から、別紙説明資料により説明がなされた。  
質疑は特になく、議案第 9 号は原案どおり可決された。

## 11. 報告事項

### (1) 行事の後援の承認について

- ・福原教育総務室長から、行事の後援承認は前回の定例会以降に 4 件あった旨、別紙説明資料により報告・説明がなされた。

### (2) 各担当からの報告について

- ①助川主任指導主事から、各学校の様子について、学校行事についての報告・説明がなされた。
- ②笹生生涯学習室長から、資料館特別展について報告・説明がなされた。
- ③安田教育課長から、鋸南町議会 3 月定例会での教育課関係一般質問について報告・説明がなされた。

12. その他

- ① 福原教育総務室長から、今後の行事日程について、別紙説明資料により報告・説明がなされた。
- ② 富永教育長から、6月定例会日程について協議があり、20日木曜日中央公民館で開催することに決定した。

13. 閉 会 富永教育長が閉会を宣言

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証する。

令和6年4月18日

鋸南町教育委員会 教 育 長

教育委員

議事録作成 事 務 局